

生活空間の安全・安心を確保！

～美しい景観と安全な群馬の道を目指して～

災害時の交通寸断を防ぐ

大地震や台風時の突風により、電柱倒壊や電線切断が発生し、交通の寸断が発生する危険性があります。電柱類の地中化により災害時の消防活動や救急活動の支障となるリスクを軽減することが期待されます。



熊本地震による電柱の倒壊（平成28年4月）



台風21号による電柱の倒壊（大阪府・平成30年9月）

【効果1】情報通信基盤整備の促進



新たな情報通信ネットワークの形成により、高速・大容量の情報交換が可能になります。

【効果4】火災時の消防活動空間を確保



架空線は火災時において消防活動に著しい支障をきたします。電線類を地中化することにより、歩道上の空間が確保され迅速な消防活動や救急救命活動を支援します。

【効果2】安心して歩道が歩ける



電柱による歩道内の障害が少なくなるので、歩道スペースが広く確保でき、高齢者や車いすなどでも安心して通行できるようになります。

【効果5】見通しが良くなる



電柱がなくなることで交差点での見通しが良くなり、交通標識等も見やすくなるとともに電柱衝突事故が大幅に減少します。

【効果3】景観も良くなり、街が美くなる



電線類や電柱がなくなることで、景観は見違えるほどすっきりと美しくなります。青空も広がり、自然と調和した環境づくりをサポートします。

【効果6】電力・通信の信頼性、安全性が向上



電柱や架空線は台風や地震時などの災害時には、電柱倒壊や電線切断等の二次災害の原因となる危険性があります。電線類の地中化によって、これらの問題を解決します。

●Before



●After



ストック効果